

－お問い合わせ－

まちづくり推進課 広報プロモーション係

担当:東(ひがし)、松田(まつだ)、古田(ふるた)

電話:0964-27-6608/メール:machi05@city.uto.lg.jp



令和7年5月9日

## まかどいし 馬門石の赤さの秘密に宇土高生が迫る

日時 令和7年5月12日(月) 10:30～11:30

場所 宇土市網津町馬門石石切場跡 付近

緯度 32.68577378816052, 経度 130.59593022010117

### 【アピールポイント】

○宇土市網津町で採取され、赤い発色で有名な「馬門石(※)」。今から約 1,500 年前の古墳時代から時の権力者に珍重されてきた、歴史的に大変貴重な石材です。

○九州一円に分布し、主に灰黒色を呈す「阿蘇溶結凝灰岩」の一種でありながら、特徴的な赤色を呈すその理由やメカニズムについては、未だ明らかではありません。

○馬門石の地元・宇土高校では、理系教育に力を入れる「SSH(スーパーサイエンスハイスクール)」の一環として、様々な事象を科学的に解き明かす研究活動などを行ってきました。近年では、不知火海における謎の発光現象「不知火」のメカニズムに関する研究が注目を集めました。その定評ある宇土高校の生徒が、今度は馬門石の赤さの秘密に迫ります。

○2年前からこの課題に取り組む宇土高校科学部地学班の生徒が、馬門石に詳しい地域住民の協力・案内の下、国土交通省が進める高規格道路「宇土道路」の建設現場に入らせてもらい、馬門石の露頭を調査します。

### ※馬門石(まかどいし)

約9万年前に起きた阿蘇の噴火に伴う火砕流堆積物から成る溶結凝灰岩の一部で、宇土市網津町馬門(まかど)地区周辺で見られるものを指す。特徴的な赤味を帯びたものが、いわゆる「阿蘇ピンク石」の名で有名だが、赤色の他に灰黒色や白色、ベージュ色なども含む。

約1,500年前の古墳時代、古墳に納める石棺などの素材として利用され、馬門石製の石棺は遠く中国地方や近畿地方まで盛んに運ばれた。継体天皇陵と考えられる今城塚古墳(大阪府)や、推古天皇と竹田皇子の合葬陵とされる植山古墳(奈良県)などでの出土が有名。

また、江戸時代には藩の御用石(ごよういし)として珍重され、藩の管理の下、採掘・使用が制限された一方で、神社の鳥居や石橋、水道管(轟泉水道)などに使用された。